

# (株)清水合金製作所



品質管理部品質管理課

小林 和樹さん

経営学部ビジネス企画学科卒  
入社12年目

一般弁でシェア1位  
新製品開発も活発に

清水合金製作所は1947年に創業した水道用バルブメーカーで、全国の水道事業体に納入する仕切弁や補修弁、空気弁などの一般弁が売上高の約75%を占める。これらの主力製品は近年、日本水道協会の検査台数でトップを維持している。

また、顧客ニーズを丁寧に汲み取り、数多くの新製品を生み出してきた。「管路の強靱化や、維持管理の省力化に寄与できる製品など、バルブ関連で数多くのオリジナル製品を開発しています。さらに、災害時の応急給水用や小規模集落向けに膜ろ過浄水装置も製品化するなど、活気ある

会社という印象です」と語る。

部材品質守り  
会社の信頼守る

清水合金製作所との出会いは大学4年生の初秋。体育会の部活動を終えた時期に所属セミの教授から同社を紹介され、就職活動を開始した。「モノづくりに高い関心を持っていたこともあり、前向きに検討しました。バルブは世間で認知度が低いものの、縁の下の力持ちというポジションで世の中に貢献できる仕事という点にも共感しました。」

同社に対する印象はさらにポジティブに。内定後に改めて当社について調べました。日本協の検査台数トップの会社と知

り、強みを持つ企業で技能を磨けることに喜びを感じましたと振り返る。入社して1年間は希望通り、製造部に配属され、モノづくりの最前線で自社製品に対する理解を深めた。翌年から6年間は購買部に勤務。仕入

品の加工依頼やチェックなどの業務を通して、バルブを構成する部品の仕様について学んだ。

「現在勤務している品質管理部では、外注製品の受入検査や購入品の品質確認、浄水処理装置の品質検査やお客様同席のもとでの立会検査などを担当しています」とし、「品質の善し悪しは製

品、ひいては会社の信頼に直結するため、重責を感じています。だからこそ、基準に満たない不具合品の原因を追究し、対策できたときが自分自身の成長を感じる瞬間でもあります」と笑顔を見せる。

多様な業務経験し  
頼られる先輩に

昨年1月には塗料メーカーの不祥事が発覚し、全国で管工事が一時ス

トップするなど水道界を震撼させた。「バルブ製品に塗布する塗料を再評価する必要があり、現在もその対応に取り組んでいます。実際に試験に携わる機会が増えたことで、塗料の特性により詳しくなります。正念場ですが、引き続きしっかりと取り組みたい」と力を込める。

今後のキャリアは「月に直結するため、幅広い知識を身に付けて頼り甲斐のある先輩になりたいです。多くの部署で経験を積んできたからこそわかることがあるので、それを活かして、構造が複雑な特殊弁の製作など、品質を高めていくことに携わりたい」と見据える。

学生に向けては「専門知識がなくとも問題なく、入社後の研修や実務を通してキャッチアップできます。当社は人材育成に積極的で、私自身も社内外の研修で身に付けた知識や技能も活かし、日々の業務に取り組んでいきます。当社に関心を持った人は是非、就職説明会などに足を運んでほしいです。」



浄水処理装置の品質検査を入念に行う

いエリアールした。

## 重責を刺激に日々成長を 強み持つ企業で技能磨く